

令和元年度 第1回大野市人口減少対策会議

日時：5月24日(金) 午前9時～11時

場所：市役所 大会議室（2階）

○出席委員 全27名中20名

○市長、副市長、全部局長、総合政策課員(事務局)

9：00開会

1 市長あいさつ

- ・地方創生・人口減少対策は、平成26年に日本創成会議において、消滅可能性都市が示されたことから始まる。
- ・その後、国の総合戦略が閣議決定され、大野市でも総合戦略を策定し、その検証の場が、人口減少対策会議。
- ・今年で発足5年目となり、昨年度からは専門部会を設置し、具体的な議論も進めてきた。
- ・今年度、総合戦略の終期を迎えるが、次期戦略に向けては、総合計画とも合わせて検討していきたい。

2 開会

(南保委員長あいさつ)

- ・江戸時代について調べてみると、日本人の平均寿命は非常に延びており、現在の60歳代は江戸時代の40歳代くらいに相当する。今の高齢者は働き盛りである。

3 報告確認事項

(1) 委員等紹介(欠席報告)

- ※事務局より交代委員の紹介、欠席委員の報告、市の人事異動による交代職員の紹介
- ※別紙委員名簿のとおり

(2) 副委員長選出

- ※副委員長の安間委員(大野市区長連合会)が今回交代されたため、大野市人口減少対策会議設置要綱第4条第2項により、委員の互選により新たに選出。
大野市区長連合会の南部委員を事務局から提案し、委員の了承を得た。

4 協議および説明事項

(1) 平成30年度の取り組み状況について

※当日配布の「大野市総合戦略 平成30年度における取組状況報告」について説明後、質疑応答

(説明概要)

- ・1ページに記載のとおり、大野市では人口減少対策に特化した施策の方向性を大野市総合戦略に位置付け、取り組みを進めている。計画期間は平成27年度から31年度までの5年間。
- ・KPIの達成状況、それに関連する主な事業を説明。
- ・地方創生関係交付金の進捗状況について説明。なお、人口減少対策会議では、総合戦略に加え、平成27年度から取り組んでいる国の地方創生関係交付金の各事業についても評価いただくこととなっている。
- ・委員の皆様には、報告書をお持ち帰りいただき、各団体の関係者のご意見なども参考に、別紙「評価シート」に各施策の評価と意見を記入いただき、事務局までご提出いただきたい。
- ・いただいた評価と意見は、事務局でとりまとめ、次回の会議でご報告したい。また、「取り組み状況報告」は、6月議会の委員会で報告した後、「広報おおの 8月号」および市ホームページで公表する予定。

(質疑応答)

委員：出生率、婚姻率が低い。大野市は子ども、子育てを大切にしているというイメージを作るべき。

委員：観光入込数が伸びていない状況。特に宿泊客が少ないので、宿泊施設の整備も必要だが、現実的には難しい。

一方、移住定住の件数が伸びているのは喜ばしい。今後は、働く環境の充実も必要。

委員長：大野の自然環境は良いが、泊まる場所がないという声は直接聞いたことがある。空き家や空き店舗を活用して宿泊施設をつくってはどうかという意見もあった。

移住相談件数が伸びている理由を、市では把握しているか？

大野市：ホームページのリニューアルやブランド発信の効果であり、地道に取り組んできた結果と考えている。

委員長：福井のモノづくりでは、今の若者はひきつけられない。都市型産業の推進が必要。県内のある高校が、日本金融公庫のモデル事業で地域活動を行っている。大野市で高校生の取り組みは進んでいるか？

委員：1年生が「わたしが未来の市長」プロジェクトに取り組んでいる。

委員：ビジネス情報科が、大野市のパンフレット作成などを行っている。

委員長：経済成長の三要素は、イノベーション、投資、人口増といわれている。江戸の繁栄はイノベーションの役割が大きかった。クオリティの高い事業の実施が必要。一つ一つの事業の中身が世の中に適合しているか検証し、メリハリをつける必要がある。委員の皆さんにも考えてもらいたい。

(2) 令和元度の主な事業について

※資料「大野市総合戦略に係る平成30年度の主な事業」について説明後、質疑応答(説明概要)

- ・資料2について、主な事業を説明。当初予算をベースに、総合戦略に係る事業のうち主だったものを掲載しており、地方創生・人口減少対策に資する事業全てを掲載しているわけではない。また、今後の補正予算により、事業が追加されることもありうる。
- ・なお、一部の事業の財源として、今年度は、「地方創生推進交付金えお活用して、コンパクトな城下町『越前おおの』再生事業(市単独事業)」と、「人口減少・高齢社会に適応した元気な集落づくり・シニアの活躍促進(県市町連携事業)」の2事業、32,957円に取り組んでいる。

(質疑応答)

委員：各部署が所管事業に集中すると全体が見えなくなる。総合計画や総合戦略で共通の尺度を設けることが必要。人口減少よりも人口構成が心配。人口構成の歪を改善するための施策を積極的に行うべきかどうか検討してもらいたい。

委員：みずコトアカデミーの詳細と成果は？

大野へかえろうに続く事業はないのか？

大野城の令和御朱印はすごい人だった。寺院関係の宝を発掘してはどうか。

委員長：大野の人は欲がないという声を聞く。儲けることも考えてほしい。

大野市：みずコトアカデミーについては、平成29年度から実施しており、首都圏在住の10人から15人を対象に4回の講座を開催して大野の魅力を伝え、1回は実際に大野を訪れる。大野のファン、いわゆる関係人口の増加を目指す事業。この事業を通して、一人の女性が八町に居住し、猟友会にも入会するなどして活動している。そういった人からの口コミで大野の魅力が発信されることを期待している。

未公表となっている越美北線の利用者数は6月に公表される予定だが、大野市内での利用者は減少している。路線存続に向けた利用促進が必要と考えている。

大野市：「大野へかえろう」事業は、これまでの4年間に約100枚のポスターを制作した。大野高校の卒業式で歌っている楽曲は、JR越前大野駅でハンドベルバージョンとして流している。新成人に写真集を配布もしており、今後は、民間の力も借りながらやっていくことを今年度検討している。

(3) 専門部会の設置について

※資料3「令和元年度大野市人口減少対策会議専門部会（案）」について説明後、質疑応答

(説明概要)

- ・昨年度に取り組んだブランドと少子化対策の2部会を継続し、テーマを発展させて取り組みたい。
- ・今年度のテーマは、「回遊性」と「子育て支援」。それぞれ、重点道の駅から市内への回遊を図る施策、子育て世代への包括的な支援パッケージについて検討を進めたい。
- ・昨年度同様、テーマに沿った人材を集め、委員にもそれぞれ1名ずつ参画してもらい、部会を組織したい。
- ・部会の継続性も考慮し、越前信用金庫の岸本委員、子育て支援センター利用者代表の廣瀬委員に引き続き参画いただきたい。

(意見)

委員：昨年も部会に参加し、有意義だった。今年度のテーマは、より意見を出しやすい。大野の自然環境は素晴らしいので、それを生かして市を良くしていきたい。

5 その他

(意見)

委員：大学誘致を検討してほしいという意見も聞いている。サテライトでも良いので、若い人に大野に来てもらえる策を考えてもらいたい。

委員長：県立大学では2年後に新たな学部の創設を検討している。リーダーシップの養成を目的に、地域でのフィールドワークなどを行いたい。

委員：学校再編と少子化は関係が深い。市長部局と教育委員会が連携して取り組んでもらいたい。

大野市：来週から小中学校をまわり、保護者の意見を聞く。より良い教育環境を整えることが第一だと考えている。当然、横の連携も図っていく。

委員：学校再編問題によって市のイメージが下がっている。教育環境の良いまちに移住する人もいる。大学誘致、働く場所の確保などが重要。

委員：ハード整備は進んでいるが、既存の中小企業は人材不足に悩んでいる。福井市の中学校や高校への生徒の流出も問題。大野で学ぶ環境づくりについて議論してもらいたい。

委員長：福井県のすばらしさが子どもたちに十分伝わっていない。郷土愛の教育がもっと必要。

委員：生徒の減少が教員の減少を生む悪循環。十分な部活動ができない問題もある。

委員：子どもの教育には親の経済性も重要。地域おこし協力隊の外からの視点で新しい風を起こしてもらいたい。そのためにも、協力隊を任期後も大野に残すための支援を検討してもらいたい。

民間事業者に危機感がないとイノベーションは起きない。補助金の見直しも検討してもらいたい。

市長：先日開催された教育シンポジウムで、福井大学の松木教授も南保委員長と同じことをおっしゃっていた。

戦後、日本人の平均寿命が延びるのに合わせて晩婚化が進んでいる。子どもが少ない中で高齢者にも活躍の場があるということ。

総合戦略は大野市独自の施策を盛り込んでいるものだが、その他にも戦略には表れない多くの子育て支援策を行っている。

市内の保育所では、自然豊かな環境で保育を行っている。

小中学校は、学校再編がすべてではない。教育の質を高めることが重要であり、学力向上、いじめや虐待を生まない取り組み、学校へのタブレット、電子黒板の整備やA L Tの増員なども積極的に行っていることを理解していただきたい。

中部縦貫自動車道の令和4年度県内全線開通に向けて要望活動を行っているが、市の高速交通アクションプログラムも策定し、開通に向けた準備を進めている。また、今年度は健康づくりにも取り組んでいく。前向きに楽しく施策を推進していきたい。

6 閉会

(南保委員長あいさつ)

- ・委員への依頼事項（評価シートの提出）の確認
- ・専門部会を提案のとおり設けることを確認
- ・10月頃に第2回会議の開催を確認

11：00閉会

【会議資料】

大野市人口減少対策会議委員名簿

資料1：大野市総合戦略平成30年度における取り組み状況報告

資料2：大野市総合戦略に係る令和元年度の主な事業

資料3：人口減少対策会議専門部会の概要